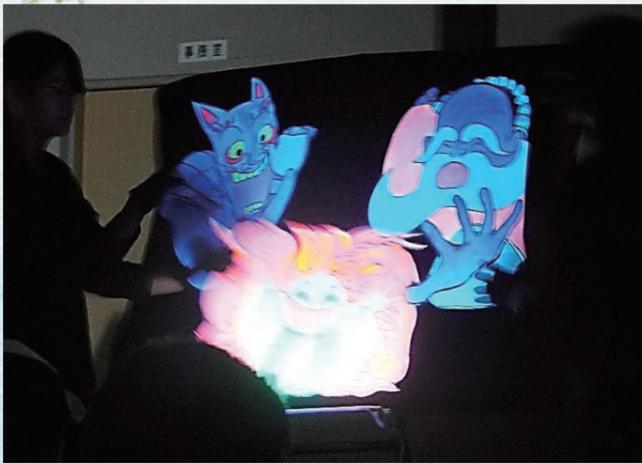




〔演目〕
朗読：『安義の橋の鬼』（『日本の恐ろしい話』より/偕成社）
絵本：『かっぱ』（杉山亮作/ポプラ社）
ブラックシアター：『めっきらもっきらどおんどん』（長谷川摂子作/福音館書店）

猛暑を少しでも涼しく乗り切ろう！ということで、恒例となった「こわいおはなし会」。今回は九州大谷短期大学の先生と学生さん3名が、おはなしをしてくださいました。

薄暗闇の中でとつとつと語られるおはなしは臨場感たっぷり。ふだん光の下で見れば、色鮮やかな絵本の挿絵でさえも、なんだか不気味に見えてしまうから不思議ですね。



ブラックシアターは、学生さんたちの手作り作品。妖怪たちが暗闇に浮かび上がり、右に左にとうごめく光景は、妖しくもあり美しくもあり、とても幻想的な物語となりました。

NPO Manabitto yahime news ～図書館だより～

なかよし八暖

No. 41 2016. 9

夏休みも図書館が大活躍!!



夜のこわいおはなし会

7月30日（土）午後8時から、本館で「夜のこわいおはなし会」を開催しました。

閉館後の真っ暗な図書館で、お化けたちがお出迎え。キャンドルが灯る、普段とは違った雰囲気、開場前から怖がっている子どもたちもいましたが、さて、みんな無事に最後までお話を聞くことができましたのでしょうか？

自由研究おたすけ隊



自由研究のヒントになるアイデアカードや、役立つ本をたくさん準備していましたが、あっという間に貸出中になってしまいました。

なつやすみスタンプラリー

おがたそうまくん。本の感想を丁寧に書いてくれました。

本を読んで、カードにスタンプが一杯になったらプレゼントをゲット！毎年子どもたちが対象の催しでしたが、今年は大人向けのカードも登場！少しゲーム感覚のルールなので、きょうだいで相談したり、親子で楽しそうに本を選ぶ姿が見られました。



親子で楽しむ

ひるさがいの朗読会 PART 3

講座 朗読を学ぼう のようす

6月16日（木）に「ひるさがいの朗読会～講座 朗読を学ぼう～」を開催しました。毎年好評の講座で、「ぜひ次回もやってほしい」という声を多数いただき、今年で第3回を迎えました。

講師は過去2回にひきつづき、長崎県出身のフリーアナウンサー高月晶子さんをお願いしました。冒頭は、先生が宮沢賢治の詩『永訣の朝』を朗読。最愛の妹を亡くした別れの心情が、声と共に室内に情感豊かに広がりました。



実際に文章を読む練習として、早口言葉を口を大きく開いて、わざとゆっくりと読むことから。

「お^あ綾^おや^お親^あにお^い謝^いりとお^いい、お^あ綾^あや^あ八^あ百^あ屋^いにお^い謝^いりとお^いい」ゆっくり読むなら簡単！と思いきや、しっかり口を開こうとしても、

思うように筋肉が動かないことに驚きます。ゆっくり読んだ後は早く読み、緩急をつけた練習をすることが朗読の上達につながるそうです。



後半は「祝婚歌」（吉野弘著）の朗読。各々で読む練習をした後に、受講生の中から3名の方に発表していただきました。ご自身の新婚当時の情景が思い出されたのでしょうか、自分の声質にあわせた発声を心がけながら、みなさん堂々とした朗読でした。



最後は先生に『原子雲の下に生きて』（永井隆著）を朗読していただきました。先生の出身地でもある長崎。戦争で生き残った小学生の手記をまとめたこの本には、二度と悲惨な戦争を繰り返してほしくないという思いが込められています。人びとの願いが、先生のやさしい声によって、ゆっくりと響きわたっていきました。

講座を終えて、受講生のみなさんからは、「久しぶりに声を出し、清々しい気持ちになった」「大変感動した」「また受講したい」という声をたくさんいただき、改めて、声の力や語りの魅力を感じる講座となりました。



体をほぐした後に腹式呼吸でスーハー、スーハー。続いて口を滑らかに動かす練習をするなど、声を出しやすくするためのウォーミングアップが大事だそうです。

第2回図書館キャラクター・グランプリに挑戦します！

図書館総合展で「第2回図書館キャラクター・グランプリ」が開催されます。

八女市立図書館からは“えいくん”がエントリーすることになりました。

秋以降に選考予定なので、状況が分かり次第みなさんにお知らせします。



応援よろしくね!

おしえて! 英くん

Part6

～「さんきらまんじゅう」のナ～

みなさんは「さんきらまんじゅう」を食べたことがありますか?さんきらまんじゅうは筑後地方一帯で祭りの時に作られる柏餅のようなまんじゅうのことです。柏の葉のかわりにサンキラの葉(サルトリイバラ)を使って作ることから、さんきらまんじゅうと呼ばれます。しかし、この「さんきらまんじゅう」には地域によって様々な呼び名があるようです。

イゲの葉
まんじゅう

がめの葉
まんじゅう

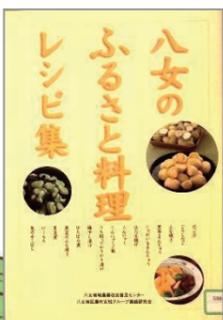
よどまんじゅう

祇園さん
まんじゅう

あなたの地域は
何まんじゅう?



元々は五月五日の端午の節句で邪気を払うために食べられていたのが「さんきらまんじゅう」。「さんきら」は「三帰来」と書き、久留米附近では「がめの葉」とも呼ばれています。



『八女のふるさと料理レシピ集』

八女地域農業改良普及センター

八女地区農村女性グループ連絡研究会 発行/K596 ヤ

だご汁、ふな焼き、じゃがいもまんじゅう、鬼の手こぼし...

八女地域で昔から受け継がれてきた郷土の食文化を、より多くの方々が体験できるようにまとめられたレシピ集です。

みなさんも作ってみませんか?

代々伝わる! わが家のサンキラまんじゅうの作り方♪



- ①小豆、キザラ(白砂糖可)をそれぞれ同量ずつ、さらに塩を少々加え、小豆あんを作り、まんじゅう1個分の玉にしておく。
- ②上新粉に、小麦粉を少々と水を加え、耳たぶくらいの状態になるまでこねる。しっかり絞った濡れふきんを上にかけて約20分おく。その間に、蒸し器の準備をする。

③皮をもう一度こね、1個分を手のひらで延ばし、あんを包み込んでサンキラの葉で挟む。

④まんじゅうを蒸し器に並べて、サンキラの葉の色が変わるまで(10~15分)蒸す。

※家庭により作り方には多少の違いがあるようです。『福岡県の郷土料理』(楠喜久枝/著 同文書院)にも、詳しい作り方が載っています。

作り方を教えてくださいました



黒木町在住の小川八千代さん(左)
田北イサヲさん(右)

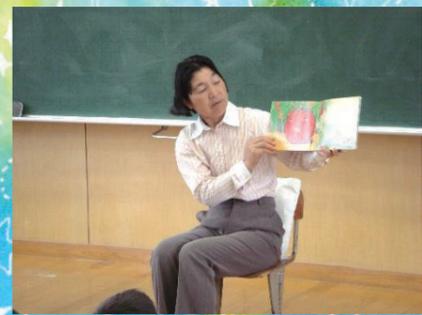
ありがとうございました!

第10回 八女市内の ボランティア紹介

八女市立 立花小学校 読書ボランティア

「ネリノ」

私たちは、立花小学校で朝読の時間に読み聞かせの活動を行っている読書ボランティアグループです。「どんな子どもたちにもお話の楽しさを伝えたい」という想いから、世界の名作絵本『まっくらネリノ』(ベルガ・ラルガー/作 偕成社)より団体名をつけました。



活動はおもに3人という少人数で行っています。子どもたちの笑顔と、読み聞かせの時間を楽しみに待っていてくれることを励みに活動をさせていただいています。メンバーは和気あいあいと、この本は「こうだった」「ああだった」とお互いの情報を交換しながら、子どもたちが一冊でも大好きなお話に出会えるよう、小学校と協力しながら活動を続けていきたいと思っています。



<活動日>
隔週 火~水曜日
8:20~30(10分間)
※学校行事等により変更になる場合があります。
<場所>
立花小学校 1~4年生各教室

★少人数のメンバーで行っているため、欠員時の代替えのメンバーを募集しています。興味をお持ちの方は、立花小学校(0943-37-0023) 司書までお尋ねください。

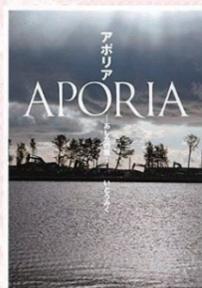
図書館員のおすすめ BOOK



『福岡周辺ご朱印めぐり 旅乙女の寺社案内』
月刊はかた編集室 著/メイツ出版(175p)
お気に入りのご朱印帳に「一期一会」の出会いを刻みながら、小さな幸せ集めにでかけませんか?太宰府天満宮、到津八幡宮、高良大社、興止日女神社など、福岡周辺の寺社を紹介。

『デトックスウォーター』 庄司いずみ 著/永岡書店(498.50)

その時々で気分が、フルーツや野菜をザクザク切ってポットに入れ、あとはミネラルウォーターを注ぐだけ。美や健康をつくるための栄養が補給できる、話題のおいしい水「デトックスウォーター」のレシピ本。



『アポリア』 いとうみく 著/童心社(913円)

東日本大震災から約20年後の20XX年、日本の首都を襲う大地震が発生。引きこもりだった中学2年生・一弥の日常は一変し...。人々を襲った悲劇と生きるための奮闘、絶望の果てに見えたひと筋の希望を描く。

【発行】NPO法人 まなびと八媛(八女市立図書館内)
【住所】〒834-0031 八女市本町 536-3 【電話】0943-22-2504